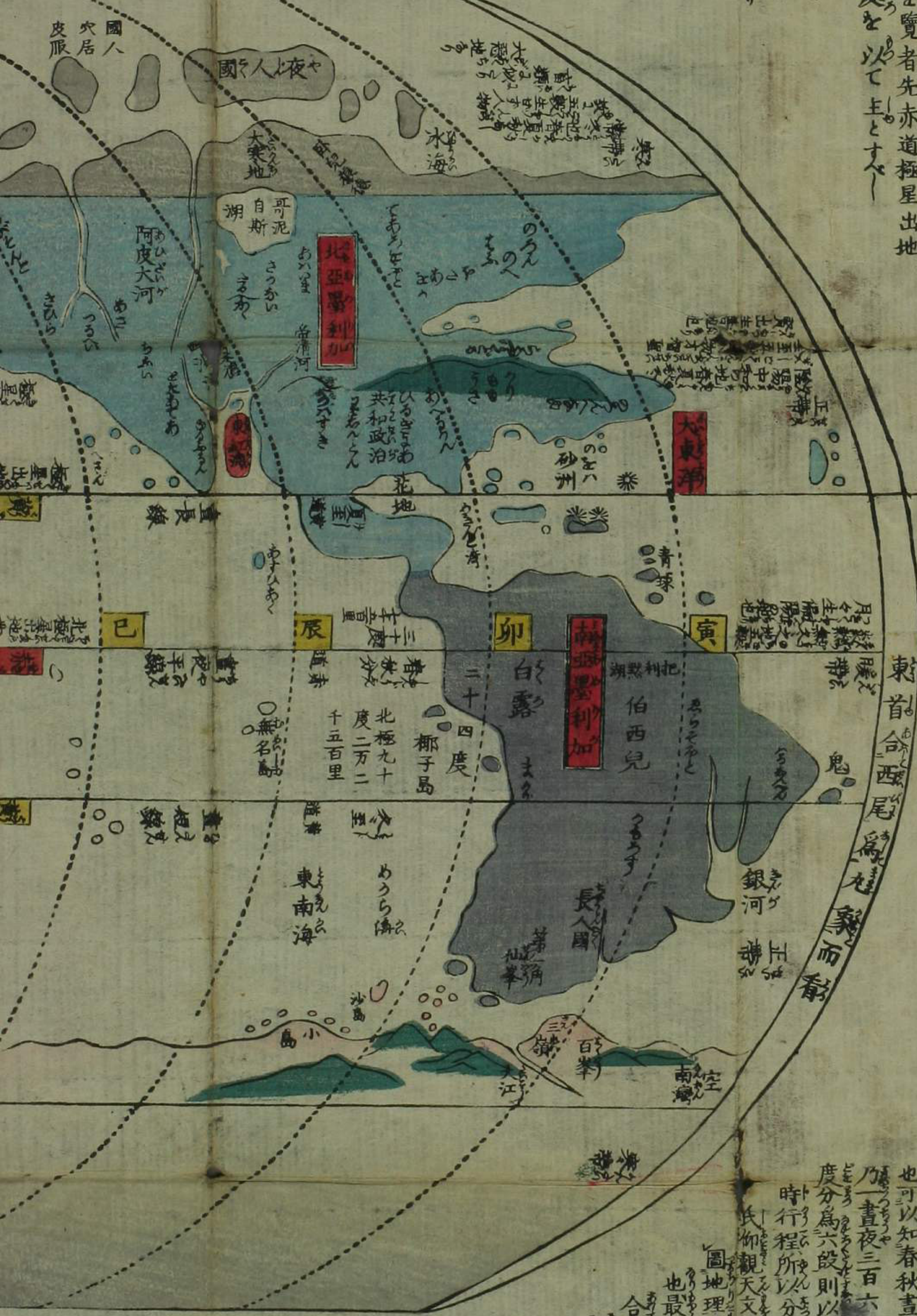




# 地球萬國山海輿地全圖說

凡此圖を覽者先赤道極星出地一度之處を以て主とすべし

此圖阿蘭陀の所製世に流布せらる多し其大小精疎分圖全圖異同あるは似れども大抵皆同也  
○大東洋○小東洋○小西洋○大西洋を四海といふ△亞細亞△歐羅巴△利未亞△南北亞墨利加△墨瓦臘尼加并を六大洲といふ昔以西巴尼亞之臣墨瓦臘尼加といふの始めて渡此海遷于本國故以其名為國名  
○大地南北の正中は赤道線あり南北各九十度あり春秋二分の日道ふて其下天下第一炎熱無冬の地あり暖帯といふ此所ふて北



○萬國土地の善惡を考ふるは五帶あり暖帯一寒帯二正帯二正帯を善と寒帯を惡と暖帯を中といふ日本唐土天竺紅毛八正帯あり

往昔泉州一宮某者携此圖來肥自以珍蔵或謂寔之以國字書番語今見之緯東西者乃日月行躔之度所以分黃道赤道也  
○地球周三百六萬九千里一度為二百五十里以陸路量之大率三四百里日本道三四十里而差一度也

○南極星高九十度在人頭上謂之夜國上半年晝下半年夜也可準北極然無海路之通不知未海之

早稲田大學  
昭和24.5.16  
購入



○大地南北の正中は赤道線あり南北各九十度あり春秋二分の日道ふて其下天下第一炎熱無冬の地あり暖帯といふ此所ふて北極より南極まで一萬二千里あり小登れ南北の二星各一千里あり北極より赤道線まで一千里あり赤道線より南極まで一千里あり

○南極星の出地度數も赤道より始ると北極と同じ然れども南方墨瓦臘泥加の地へ大海を北へ受て東西に連り大洲を南北の地界へ通達する海路あり故に其地理人物を知るに南極星の高九十度頭上に見る所へ夜國ありと準知す一阿蘭陀人も南方をへ知るを得



○南極星高九十度在入頭上謂之夜國上半年晝下半年夜也可準北極然無海路之通不知水海之有無南極之地理人物之異同雖利未亞歐運巴之人一切不能知也

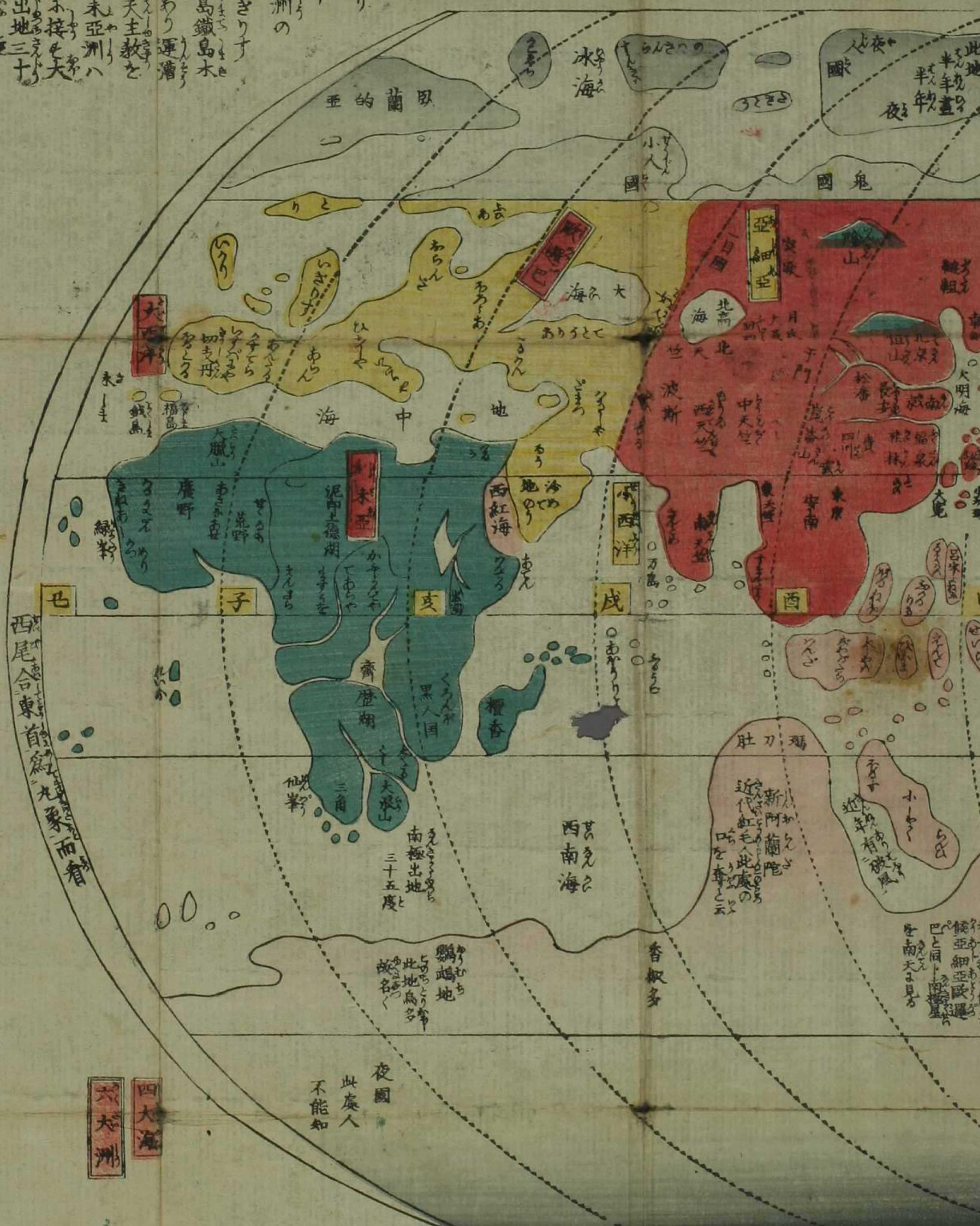
○日輪寅時亞墨利加大東洋日出其日の申時日本の上は來り其間百八度道程四萬五千里又其日五時又大西洋以西把尼亞ノ福島小至る其間も百八度四萬五千里也一晝夜九萬里一地球を周り終る一時の中七千五百里を行く矢りも疾かるべし福島ハ日本の極西小當り氣候同

凡例  
北ありか  
南ありか

限を東南西北一圓りて一日とす毎日日を見る是を半年夜半年晝といふ是を寒帯といふ

○南極星の出地度數も赤道より始ると北極と同一然れども南方墨瓦臘泥加の地へ大海を北へ受て東西に連り大洲を南北の地界へ通達する海路あり故に其地理人物を知ると南極星の高九十度頭上に見ゆる所へ夜國ありと準知すべし阿蘭陀人も南方をへ知ること得む故に記す此四大海六大洲へ紅毛人の名づくる所あり故に中華の書に見る所あり

○日本唐土天竺へ皆亞細亞洲の中也歐羅巴洲ハ阿蘭陀いんざりす以西把尼亞等の三十餘國福島鐵島木島あり也中海大海等の内海あり運漕萬國へ通達し豊饒之地なり天主教を尊信す此北大西洋教といふ利未亞洲ハ暖帶熱國也南北の界へ正帯不接を大浪山の岸を航行すは南極出地三十度不見也日本と氣候全く同此亦西洋の教を奉む



○傳云三山六海  
一平地 平地内盤 田應居半

○大抵曲尺寸準日本道千里

按地球中人倫所栖大概廿分之一

赤水長玄珠述



- 凡例
- 北あめりか
  - 南あめりか
  - あとや
  - ようろっパ
  - りみや
  - めからふか
  - 夜國寒帯
  - 赤道一黃道二
  - 時刻十二

以西把尼亞、福島小至る其間も百八十度四萬五千里也一晝夜九萬里一地球を周り終る一時の中七千五百里を行く矢よりも疾のるべし福島へ日本の極西小當りり氣候同

大津浦の道  
 大津浦の道は、天津から北京へ通ずる主要な交通路である。この道は、大津浦の海軍基地と北京の政治中心を結ぶ重要なルートである。

**福原市 第三門**  
**第六地球万国山海**  
**輿地全図説**

